

公益財団法人 新日本先進医療研究財団 平成28年度（第2回）研究助成金受賞者

(敬称略、50音順)

| 氏名       | 所属機関                              | 研究題目  |
|----------|-----------------------------------|---|
| 東 公一     | 久留米大学医学部内科学講座 呼吸器神経膠原病内科部門        | ドライバー遺伝子変異依存肺癌における免疫逃避機構の解明と治療戦略                                |
| 有山 寛     | 九州大学病院 血液・腫瘍内科                    | 胃印環細胞癌に対する新規治療ターゲットの同定および治療法の開発                                 |
| 飯森 真人    | 九州大学大学院医学研究院 がん分子病態学講座            | 抗がん剤による老化誘導シグナルの分子機構解明と創薬標的の探索                                  |
| 池ノ内 順一   | 九州大学理学研究院                         | 癌細胞の遊走能獲得機構の解明  |
| 井手上 賢    | 熊本大学大学院 自然科学研究科                   | RNAを介した染色体制御メカニズムとそれを標的としたがん抑制戦略の探索                             |
| 岩見 真吾    | 九州大学大学院理学研究院 生物科学部門               | ヒト化マウスの白血球動態の定量化に基づいた新しいがん研究の展開                                 |
| 岩本 英希    | 久留米大学内科学講座 消化器内科部門                | 肝細胞癌組織におけるエクソソームを介した細胞間情報伝達による腫瘍血管の形態・機能的変化の解析                  |
| 門松 毅     | 熊本大学大学院 生命科学研究部                   | 希少腎がんに対する個別化治療戦略の確立に向けた基盤技術の創出                                  |
| 亀田 拓郎    | 宮崎大学医学部付属病院 第二内科                  | 遺伝子改変マウスを用いたHTLV-1関連疾患(ATLLおよびHAM)の病態解明および新規治療法開発               |
| 川上 広宣    | 九州大学大学院薬学研究院 分子生物学分野              | 新規抗がん剤の創薬を志向した細胞周期亢進因子の網羅的探索と制御動態解明                             |
| 河原 康一    | 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科腫瘍学講座 分子腫瘍学分野     | 核小体を起点とした分裂期チェックポイント機構の解明と新規抗癌剤の開発                              |
| 菊繁 吉謙    | 九州大学大学院医学研究院 応用病態修復学講座            | 急性骨髄性白血病幹細胞におけるTIM-3シグナルによるβ-catenin経路活性化機構の解明                  |
| 國崎 祐哉    | 九州大学大学院医学研究院 応用幹細胞医科学部門・がん幹細胞医学分野 | 造血器腫瘍の発症、進展を支持する骨髄微小環境の同定                                       |
| 佐藤 賢文    | 熊本大学大学院 先端機構佐藤研究室                 | HTLV-1による発がんに関わるウイルス遺伝子HBZのエンハンサー領域特定および分子機構解明研究                |
| 佐藤 哲也    | 九州大学生体防御医学研究所                     | 臨床ビッグデータを利用したがん治療用抗体医薬の新規ターゲットの発見                               |
| 塩田 真己    | 九州大学病院 泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科            | ゲノムワイドSNPアレイによる転移性前立腺癌治療の個別化医療の確立と最適化                           |
| 幣 光太郎    | 宮崎大学医学部内科学講座 消化器血液学分野             | Calreticulinが関わる造血シグナル伝達機構、およびその破綻による骨髄増殖性腫瘍発症機序の解明             |
| 塚本(粟井)博文 | 熊本大学大学院生命科学研究院 免疫学講座              | 免疫抑制因子としてのIL-6シグナルを標的とした癌免疫療法の効果予測と、増強戦略の基盤構築                   |
| 野波 篤     | 久留米大学医学部内科学講座 血液・腫瘍内科部門           | 骨髄増殖性疾患における、CALR遺伝子変異によるJAK2活性化メカニズムの解明                         |
| 馬場 崇     | 九州大学大学院医学研究院 分子生命科学系部門            | 核内受容体Ad4BP1によるガン細胞特異的代謝制御機構の解明                                  |
| 土方 康基    | 九州大学病院 先端分子細胞治療科                  | 新規腫瘍溶解性エンテロウイルス、エコウイルス4 (echovirus4)による食道癌治療法の開発                |
| 日野 信次朗   | 熊本大学発生医学研究所 細胞医学分野                | がんにおけるリポフラビン代謝動態とエピゲノム制御異常に関する研究                                |
| 三好 寛明    | 久留米大学医学部 病理学講座                    | パラフィン包埋検体から抽出したRNAを高感度に定量できる測定手法 (nCounter system)を用いた悪性リンパ腫の研究 |
| 安河内 友世   | 福岡大学薬学部総合臨床医学講座 免疫・分子治療学分野        | がん進展における組織特異的非コードRNAネットワークの探索                                   |
| 山西 芳裕    | 九州大学高等研究院                         | ドライ研究とウェット研究の融合による抗がん作用薬の探索                                     |